

平成 23 年 5 月 24 日

各 位 殿

岩手大学農学部附属動物医学食品安全  
教育研究センター教授選考委員会  
委員長 佐藤 繁

## 動物医学食品安全教育研究センター教授候補者の公募について

謹啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、岩手大学農学部では動物医学食品安全教育研究センター（産業動物実地疫学部門）教授候補者を下記により公募することになりました。

つきましては、貴機関に適切な候補者がおられましたなら、応募くださるよう周知方ご高配を賜りたくお願い申し上げます。なお、貴機関以外の方でも適当と思われる方がおられましたならば、ご推挙いただければ幸甚に存じます。

敬白

記

### 1. 募集する教員の職名および人数

動物医学食品安全教育研究センター（産業動物実地疫学部門）教授 1名

### 2. 産業動物実地疫学部門の概要および職務の内容

動物医学食品安全教育研究センターは企画調整部門、動物生産科学部門、食料生産動物医学部門および食品安全科学部門の各部門から成り、主として動物医科学系に属する総勢 24 名の研究員で構成されています。今回の公募は、新たに設置される産業動物実地疫学部門を担当する専任教授を充足するためのものです。

当該部門の主たる職務は、感染症流行時における現地での疫学調査技術と防除対策に関する教育と研究です。さらに、獣医学課程における疫学、微生物学総論、病原微生物学・同実習および感染症学を分担します。

### 3. 選考方針

今回の公募にあたっては、次の諸項を満たす人物が望まれます。

- 1) 産業動物実地疫学に関する知識と研究能力を備え、学生の教育と研究指導を行える方。
- 2) 博士の学位を有し、獣医師の資格を有する方。

### 4. 提出書類

- 1) 履歴書 1部 (写真貼付、署名、捺印のあるもの)
- 2) 研究業績目録 1部 (別紙参照下さい)
- 3) 主要論文別刷 10編以内
- 4) 教育研究に対する抱負 1部 (1,000字程度)
- 5) 推薦される場合は推薦状

### 5. 面接

選考過程において必要な場合には面接を行います。その際の旅費等は、各自ご負担願います。

### 6. 提出期限

平成23年6月23日(木)必着

### 7. 提出先(問い合わせ先)

〒020-8550

盛岡市上田三丁目18-8

岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター

教授選考委員会

委員長 佐藤 繁

Tel: 019-621-6203

Fax: 019-621-6203

E-mail: sshigeru@iwate-u.ac.jp

以上

「研究業績」の作成について（2007. 4）

農学部教員人事委員会

研究業績は、A4判の用紙に A. 著書・訳書、B. 学位論文、C. 総説・論説、D. 原著論文 (a) 学術雑誌\*<sup>1</sup>、(b) 紀要\*<sup>2</sup>、(c) プロシーディングス、E. その他\*<sup>3</sup>、F. 報告書・事業報告書等\*<sup>4</sup>、G. 特許・設計等、H. 国際学会発表\*<sup>5</sup>、I. 国内学会発表\*<sup>5</sup>の順に、下記の例を参考にして作成してください。例えば総説・論説がない場合は、C. 原著論文のように繰り上げてください。マージンは左右上下約3cmに設定し、1行35～40字で40行程度（日本文の場合フォントのサイズは10.5～12程度）にしてください。

- \*1：学会誌、国際誌等を年代順に記載する。
- \*2：試験場報告、研究所報告等を含む。
- \*3：商業雑誌、資料等を記載する。
- \*4：調査報告書、科学研究費報告書、事業報告書等を記載する。
- \*5：最近5ヵ年について記載する。（教授選考の場合、I. 国内学会発表は不要）
- \*6：著者名にアンダーラインを付け、コレスポンディングオーサーあるいは筆頭著者とイコールコントリビューションの場合は二重のアンダーラインを付ける。ただし論文にその記載がある場合に限る。
- \*7：英文で著者名を記載する場合は、下記のようにする。  
1. Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)
- \*8：学名にはアンダーラインをつけるか、またはイタリックで記載する。
- \*9：論文番号は全角、英数字は半角にする。また、巻数はボールド（太字）とする。
- \*10：Journal は略記する。
- \*11：発行又は発表予定として記載可能なのは in press か accepted のみとする。

〈記載例〉

研 究 業 績 (著書・学術論文等)

A. 著書・訳書

1. 岩手一郎 (単著) (1990)  
農学について. ○○出版社, 東京, 100p.
2. 岩手一郎 (分担執筆) (1991)  
北上山地における畜産業, 「岩手の農業」(大学太郎, 学部一郎編), △△堂, 盛岡, pp. 10-20.
3. 岩手一郎 (分担翻訳) (1992)  
トウモロコシ, 「アメリカの農業」(A. B. Carter 著, 大学太郎監訳), ◇◇社, 東京, pp. 20-30.
4. Iwate, I. and Morioka, J. (分担執筆) (1993)  
Agriculture in Japan, “Agricultural Sciences” (Eds.: D. E. F. Green and H. I. James), Bio Press, London, pp. 20-30.

B. 学位論文

1. 岩手一郎 (1980)  
XYZに関する研究. [◇◇学修士または修士 (◇◇学) ○○大学]
2. 岩手一郎 (1983)  
ABCに関する研究. [◇◇学博士または博士 (◇◇学) ○○大学]

C. 総説・論説

1. 岩手一郎 (1994)

- 岩手における野生動物の分布. 岩手の自然 No.3 : 1-5.  
2. 岩手一郎, 盛岡次郎 (1995)  
岩手山の植物分布. 岩手植物誌 15 : 215-220.

#### D. 原著論文

##### (a) 学術雑誌

1. 岩手一郎 (1985)  
岩手の野生動物に関する研究. 日動学誌 5 : 15-20.
2. Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)  
Distribution of wild animals in Iwate Prefecture. Jpn. J. Anim. Sci. 20 : 100-105.
3. Iwate, I. (1990)  
Calcium metabolism in laying Japanese quail (*Coturnix coturnix japonica*). Jpn. Avian Physiol. 25 : 15-20.

##### (b) 紀要

1. 岩手一郎 (1985)  
トウホクヤマネズミの生態について. 岩手大農報 17 : 30-40.

##### (c) プロシーディングス

1. Iwate, I., Morioka, J. and Akita, N. (1995)  
Mode of life of Japanese macaques in northern Japan. Proc. 5th Int. Cong. of Wild Animals, Berlin, pp.101-102.

#### E. その他

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1990)  
北上山系におけるニホンカモシカの生態調査. 野生動物 No.125 : pp. 35-45.

#### F. 報告書・事業報告書等

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1993)  
イヌワシのPCB汚染. 自然動物調査報告 (△△県), pp. 10-11.

#### G. 特許・設計等

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1993)  
イヌワシ捕獲装置 特許第 1234567 号

#### H. 国際学会発表 (最近5か年)

1. Morioka, J. and Iwate, I. (1996)  
Ecological study of wild animals in Japan. 5th Int. Anim. Ecol., New York.

#### I. 国内学会発表 (最近5か年)

1. 岩手一郎, 盛岡次郎 (1997)  
岩手の野生動物. 第100回日本野生動物学会講演要旨 : 25-26.